滝高フロンティアサイエンス通信

滝川高校ＳＳＨ通信（2018,4,24）　SSH・理数科　第　2　号

タイ・アメリカ生徒を受け入れて交流活動を行いました

1 ホストファミリー

４月 16 日(月)、17 日(火)の２日間日程でタイ・ラジニ小中高等学校の生徒 12 名、アメリカ・ロングメドー高等学校の生徒 12 名の合計 24 名を受け入れて交流活動を行いました。特にアメリカ・ロングメドー高校の生徒に対しては本校生徒の 10 名がホストファミリーとして５日間ホームステイを提供しました。ホスト生徒達は、家庭での英語による会話をはじめ、一緒に趣味や学校のことについて話したり、休日には札幌や旭川に出かけ、またカラオケで文化交流をしたりと中身の濃い交流を行いました。

2 オープニング



16 日の学校での交流会では、本校の交流会参加者 25 名にタイ生徒・アメリカ生徒を加えて、グループ内での自己紹介から始まりました。本校の生徒がリーダーとなり各自の名前や趣味などを英語で紹介しあい、お互いの心のハードルが少しずつ打ち解けてきました。その後、開会セレモニーとして本校校長からの歓迎挨拶、各学校の代表からスピーチと学校の紹介ビデオ・スライド上映を行いました。そして本校 ALT の Cynthia 先生から日本の文化紹介のスライド発表、タイ・アメリカ・日本を比較したクイズがありました。この頃には、緊張していた雰囲気もすっかりなごみ、英語やタイ語、日本語を交えた積極的な異文化交流を通じて笑い声が会場内を包むようになってきました。

3 料理交流



その後、調理室に移動して日本料理体験を行いました。６ つのグループに分かれ、本校生徒が考えた日本料理をタイ・アメリカ生徒と一緒に料理します。メニューはカレーライス、肉じゃが、オム焼きそば、お好み焼き、炊き込みごはん、鶏肉のショウガ焼きです。言葉で上手く説明できない場面もありましたが、身振り手振りで教えあい楽しくそれぞれの料理を作っていきました。食べているときには，“delicious” “aroi” “おいしい”と各国の言葉でその味を表現していました。その後タイ文化の１つである、フルーツカービング、ベジタブルカービング(色々なフルーツや野菜をナイフで削ってアートにしたもの)を体験しました。

4 音楽交流

アメリカ・ロングメドー高校生徒は、午後には姉妹校である滝川西高校へ移動し、そこからはタイ生徒との交流活動となりました。場所を音楽室に移動して音楽とダンス交流を行いました。最初に本校吹奏楽局の生徒が演奏とそれに合わせたダンスを披露しました。その後タイ生徒が音楽に合わせて、伝統的なタイダンスを踊ってくれました。その後ダンス指導を受けた本校生徒が、グループ毎にタイ生徒と一緒にタイ舞踊を発表しました。

5 ジャパンカルチャーデイ



17 日(火)にはアメリカ・ロングメドー高校生 12 名が再び来校しました。この日は本校の生徒が、グループ毎に、日本の伝統的な文化や遊びを紹介し、体験してもらいました。内容は書道、けん玉、だるま落とし、箸の使い方、折り紙です。大変盛り上がり、けん玉やだるま落とし、箸による豆つまみの時には歓声があがり、書道や折り紙ではできあがった作品と共に写真撮影する姿が印象的でした。